

# 高知くらしの護身術

380

## IP電話

### 突然の勧誘で契約しない

(2016年1月6日掲載原稿)

近年IP電話が急速に普及し、既に固定電話利用者の約6割がIP電話を利用しています。IP電話は便利ですが、一方でさまざまな相談も寄せられています。

【事例1】数カ月前、「IP電話にすれば料金が安くなる」と勧誘の電話があった。年金生活なので助かると思い、変更を承諾したが、変更後の料金がこれまでより高くなり驚いた。息子に契約内容を見てもらおうと、インターネット接続サービスも契約されていることが分かった。

【事例2】80代の母の家に電話をしてもつながらないことが続き、心配で様子を見に行くと、母は元気だったが、電話の受話器を取っても発信音が鳴らなかった。通信会社に確認すると、母がIP電話を契約していることや、既に郵送されているアダプターを設置すれば電話が使えることが分かった。高齢者にとって電話は重要なライフラインなので、契約後の案内などを十分にしておしかなかった。

IP電話に関する相談の特徴は、契約当事者に高齢者が多いことです。

突然の電話や訪問などで勧誘された場合、料金の安さなど“お得感”を強調され、IP電話や同時に契約するその他のサービスの内容、1カ月の支払い総額、各サービスの解約条件などを十分に理解できていないままその場で契約し、トラブルとなった事例が多く見られます。

IP電話について不意打ち的な勧誘をされた場合は、すぐ了承せず、契約内容や料金、解約条件などを十分確認しましょう。家族などに相談してから契約することも大切です。